

新科目「公共」における哲学教育の実際

山本智也（筑波大学附属駒場中・高等学校）

yamamoto.tomoya.gb@un.tsukuba.ac.jp

1. 新学習指導要領を読む

1 - 1 総則 ※ゴシック等の装飾は山本による。以下同じ。

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

各教科・科目等の指導に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(1) 第1款の3の(1)から(3)までに示すことが偏りなく実現されるよう、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、生徒の**主体的・対話的で深い学び**の実現に向けた授業改善を行うこと。特に、各教科・科目等において身に付けた**知識及び技能**を活用したり、**思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、人間性**等を発揮させたりして、学習の対象となる物事を捉え思考することにより、各教科・科目等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方（以下「**見方・考え方**」という。）が鍛えられていくことに留意し、生徒が各教科・科目等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実を図ること。

●「主体的・対話的で深い学び」（アクティブ・ラーニング）※引用は中学校版の「解説」より

以下の6点に留意して取り組むことが重要である。

ア 児童生徒に求められる資質・能力を育成することを目指した授業改善の取組は、既に小・中学校を中心に多くの実践が積み重ねられており、特に義務教育段階はこれまで地道に取り組まれ蓄積されてきた実践を否定し、全く異なる指導方法を導入しなければならないと捉える必要はないこと。

イ 授業の方法や技術の改善のみを意図するものではなく、児童生徒に目指す資質・能力を育むために「主体的な学び」、「対話的な学び」、「深い学び」の視点で、授業改善を進めるものであること。

ウ 各教科等において通常行われている学習活動（言語活動、観察・実験、問題解決的な学習など）の質を向上させることを主眼とするものであること。

エ 1回1回の授業で全ての学びが実現されるものではなく、単元や題材など内容や時間のまとまりの中で、学習を見通し振り返る場面をどこに設定するか、グループなどで対話する場面をどこに設定するか、児童生徒が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるかを考え、実現を図っていくものであること。

オ 深い学びの鍵として「見方・考え方」を働かせることが重要になること。各教科等の「見方・考え方」は、「どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのか」というその教科等ならではの物事を捉える視点や考え方である。各教科等を学ぶ本質的な意義の中核をなすものであり、教科等の学習と社会をつなぐものであることから、児童生徒が学習や人生において「見方・考え方」を自在に働かせることができるようにすることにこそ、教師の専門性が発揮されることが求められること。

カ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に課題がある場合には、その確実な習得を図ることを重視すること。

● 「対話的な学び」の定義 ※引用は中学校版の「解説」より

子供同士の協働，教職員や地域の人との対話，先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ，自己の考えを広げ深める「対話的な学び」

● 高校における道德教育と「公共」

1 各学校においては，第1款の2の(2)に示す道德教育の目標を踏まえ，道德教育の全体計画を作成し，校長の方針の下に，道德教育の推進を主に担当する教師（「道德教育推進教師」という。）を中心に，全教師が協力して道德教育を展開すること。なお，道德教育の全体計画の作成に当たっては，生徒や学校の実態に応じ，指導の方針や重点を明らかにして，各教科・科目等との関係を明らかにすること。その際，公民科の「公共」及び「倫理」並びに特別活動が，人間としての在り方生き方に関する中核的な指導の場面であることに配慮すること。

※1 小中学校における道德教育は，「特別の教科 道德」（現行・道德の時間）を要にして，学校の教育活動全体を通じて行うものとされている。

1 - 2 公民科「公共」

● 「公共」の全体像

- A 公共の扉
(1) 公共的な空間を作る私たち
(2) 公共的な空間における**人間としての在り方生き方**
(3) 公共的な空間における基本的原理
B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち
C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち

注記

- ※1 今回の改訂で，「何を教えるか」ではなく「どんな資質・能力を身に付けさせるか」という観点から書かれるようになった（コンテンツベースからコンピテンシーベースへ）。
→資質・能力は「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」の三つの柱で整理することになっている（総則）。
→指導要領の形式上，学習内容は「**知識及び技能**」と「**思考力・判断力・表現力等**」に分けて示されている。両者をセットで見る必要がある。
- ※2 「公共」では，「**人間と社会の在り方についての見方・考え方**」を働かせる。
→具体的には，指導要領の形式上，主に「**～に着目して**」の箇所に示されている。
- ※3 **Aで原理的な思考ツールを獲得し，Bで法・政治・経済の各論を学び，Cで総合的・分野横断的に探究をする流れ**となっている。
→Bには各業界からの「〇〇教育やって！」が押し寄せ，肥大化する恐れあり。
→Cでは共通に教えるべき「知識」は設けず，生徒が自ら課題を設定して取り組むイメージ。
- ※4 A - (2)にある「**人間としての在り方生き方**」は，従来から公民科「倫理」そして高校における道德教育のキーワードとされてきた文言。
→**哲学・倫理教育の主な持ち場は，A - (2)になる見込み**。
- ※5 年間の標準授業時数は1単位 35時間。「公共」は2単位＝**年 70時間**となる。しかし，……
- ※6 「公共」は全員必修の科目であり，原則として1年か2年で履修するよう明記されている。「公共」を2階建ての1階として，2階には選択科目「倫理」「政治・経済」がくる。

● 「公共」の学習内容から、哲学教育に関わりそうな箇所を抜粋

A - (1) 公共的な空間を作る私たち

内容	内容の取扱い
<p>(1) 公共的な空間を作る私たち</p> <p>①公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに<u>着目して</u>、社会に参画する自立した主体とは何かを問い、現代社会に生きる人間としての在り方生き方を探求する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような<u>知識</u>を身に付けること。</p> <p>(ア) ②自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解すること。</p> <p>(イ) ③人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、④伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解すること。</p> <p>(ウ) 自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らの⑤キャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解すること。</p> <p>イ 次のような<u>思考力、判断力、表現力</u>等を身に付けること。</p> <p>(ア) 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現すること。</p>	<p>(ウ) (1) については、アの (ア) から (イ) までのそれぞれの事項との関連において、学校や地域などにおける生徒の自発的、自治的な活動や B で扱う現実社会の事柄や課題に関わる具体的な場面に触れ、生徒の学習意欲を喚起することができるよう工夫すること。その際、公共的な空間に生きる人間は、様々な集団の一員としての役割を果たす存在であること、⑥<u>伝統や文化、宗教などを背景にして現代の社会が成り立っていること</u>についても触れること。また、⑦<u>生涯における青年期の課題</u>を人、集団及び社会との関わりから捉え、他者と共に生きる自らの生き方についても考察できるよう工夫すること。</p>

注記

- ※1 下線①に列挙されたものが、ここでの「見方・考え方」と思われる。
- ※2 下線②は、「現代社会」や「倫理」で「青年期」と呼ばれてきた内容(主に青年心理学)を示す符牒。下線⑦でも「青年期の課題」という語が登場することから、教科書レベルでも A - (1) は青年心理学的な内容が中心か。
- ※3 下線③は、「倫理」関係者が読むとアーレントや和辻哲郎などが思い浮かぶ。しかし、教科書レベルでそうした思想的内容を入れるには、ちょっと根拠が弱い。
- ※4 下線④や⑥の「伝統や文化」の文言を根拠に、従来「現代社会」の教科書では、日本思想史のダイジェスト的な記述が載っていた。しかし、ここでは「先人の取組や知恵」という微妙な表現になっているため、どこまで思想的な学習が入るか不明。
- ※5 下線⑤にあるように、「公共」にはキャリア教育の要所となる役割が期待されている。

⇒主な内容は、キャリア開発を含む青年期(青年心理)学習になりそう。それに日本思想史か。文字量はやたら多いが、茫漠とした表現が多く、内容もやや雑駁な印象が否めない。教科書紙面が抽象的な訓示ばかりでコンテンツ(ゴチック太字の用語)の少ない形になってしまうと、あまり授業時間をとらずササッと流されてしまうのでは……という危惧もある。

A - (2) 公共的な空間における人間としての在り方生き方

内容	内容の取扱い
<p>(2) 公共的な空間における人間としての在り方生き方 主体的に社会に参画し、他者と協働することに向けて、①幸福、正義、公正などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p>	<p>(エ) (2) については、指導のねらいを明確にした上で、⑥環境保護、生命倫理などの課題を扱うこと。その際、Cで探究する課題との関わりに留意して課題を取り上げるようにすること。</p>
<p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 選択・判断の手掛かりとして、②行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解すること。 (イ) ③現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、(ア) に示す考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解すること。 (ウ) 人間としての在り方生き方に関わる④諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けること。</p>	
<p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、⑤思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現すること。</p>	

注記

- ※1 下線①の「幸福、正義、公正」は、現行「現代社会」では理解すべき事項として登場。「公共」では、課題への視点となる「見方・考え方」として扱う？
- ※2 下線②がA-(2)の主な学習内容になると思われる。定番の思想家としてはベンサム、ミル、カントだが、下線③のようにあることから、思想家中心に学習するのではなく、その考え方をツールとして現代の諸課題に活かしてみるイメージか。具体的な課題として、下線⑥で「環境保護、生命倫理」が例示されている。
- ※3 下線④はほとんどテンプレ文章だが、この場合の「諸資料」として哲学者の著作原典(の日本語訳や口語訳)も想定される。
- ※4 下線⑤の「思考実験」は具体的に何を指すのか不明。哲学関係だとおそらくトロリー問題などが想定されているのだろうが、やや不穏な題材なので学習指導要領「解説」レベルでも具体的に示しにくく、教科書レベルで何がチョイスされるか悩ましい。また、「思考実験」というと、「共有地の悲劇」や「最後通牒ゲーム」など社会科学(主に経済学)寄りのものがイメージされやすく、そちらが採用される可能性も。

⇒主な内容は、規範倫理学の基本(義務論と功利主義)になりそう。「環境保護や生命倫理」の具体的課題、「幸福、正義、公正」の視点、さらに「思考実験」などをどう関係させるのか？

(1) に比べて内容は明瞭だが、その分お決まりの知識を垂れ流して終わりになりがちかも。

●ほかの箇所の内容をダイジェストで紹介

A - (3) 公共的な空間の基本的原理

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解すること。

(イ) 人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配，自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解すること。

⇒政治哲学・法哲学的に扱えば哲学教育と接点がある。しかし、現場はどうしても日本国憲法を体系的に解説したがり、憲法学べったりになる可能性大。そうなると時数肥大化の恐れも。

B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち

- ・法：私法の考え方(契約，消費者の権利・責任)や司法参加(裁判員制度など)を含む。
- ・政治：政治参加など主権者教育中心。安全保障や領土問題なども含む。
- ・経済：雇用と労働，財政と租税，社会保障，金融，グローバル経済など。起業家教育まで！

C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち

持続可能な地域，国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う，公共の精神をもった自立した主体となることに向けて，幸福，正義，公正などに着目して，現代の諸課題を探究する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 地域の創造，よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし，その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述すること。

●「現代社会の二の舞にならないように……」とは？

- ・現状，公民科の履修は「現代社会」or「倫理」「政治・経済」という選択である。
- ・「現代社会」は元来，学問のミニチュアまたはカタログ的な学習ではなく，より社会科らしい学習，すなわち現代的な諸課題を題材にして，生徒が自ら問題を設定し，調べたり，発表したり，議論したり，という課題追及重視の科目として構想されていた。
- ・当初，「現代社会」は4単位科目であり，内容の4割程度は「倫理」分野の内容だった。
- ・しかし，学校週五日制への移行に伴って「現代社会」が2単位に変更され，その際に教科書の内容として「倫理」分野がごそっと消えていった。また，「倫理」「政治・経済」の計4単位よりも，2単位で済む「現代社会」を採る学校が多くなる。
- ・いつの間にか現場では，『「政治・経済」を水で薄めて「倫理」を申し訳程度に添えた感じ』と説明されるような科目になってしまった。
- ・近年，センター試験に「倫理，政治・経済」という4単位科目が登場した。これへの対応として，「現代社会」という科目を開講し，その中で「倫理」「政治・経済」両方のセンター試験対策をぜんぶ詰め込んでしまおう！という傾向がある。

→このニーズに応える，知識すし詰めスタイルの分厚い教科書が進学校を中心に支持されている。

→課題を様々な視点からじっくり追究する科目，という当初のコンセプトは形骸化

⇒「公共」では，課題追究的な学び&哲学・倫理的な学びを十分に確保できるか？

●「見方・考え方」と哲学教育 - 「公共」全体で哲学を活かす方法 -

- ・たとえば、次のようなまとめ課題を想定し、先行する授業を準備する場合。

下のいずれかの概念を活用して、ベーシック・インカム導入の是非について論じなさい。

自由 平等 公正 効率

- ・ここでは、「自由，平等，公正，効率」が**見方・考え方**にあたる。**学習内容**としては「社会保障」などの分野に対応している。社会保障制度の問題点や将来の方向性を考えさせるための**教材**（ネタ）が「ベーシック・インカム」である。

→どの見方・考え方に着目するかによって、それぞれ異なる主張，異なる探究を導くことができる。

- ・この場合，**教材**（ベーシック・インカム）が示されず，**学習内容**（社会保障制度）が教授されたならば，その授業は退屈になりがちである。**見方・考え方**（自由，平等，公正，効率）が意識されないまま**教材**について考えさせたら，おそらく各自の考えは浅くなり，議論もかみ合わない。**学習内容**も**教材**もなく，**見方・考え方**の概念自体を延々解説されたら，やはり退屈になりがち。

- ・つまり，どの授業でも「**学習内容 × 教材 × 見方・考え方**」は3点セットで求められる。

※現状，概して高校の授業は小・中に比べて学習内容のみの一方的な教授が中心になる傾向がある。

意欲的な教員でもこの傾向からは逃れ難く，それは一般に「大学入試のせい」とされている。

- ・注意すべきは，**見方・考え方**にあたる概念の多くは，哲学的に見れば，用途の決まった単なるツールではなく，それ自体が絶えず問い直されるべき（例：幸福とは何か？）のものであること。

→社会科学的概念（今回の場合，「法の支配」など法学寄りの概念が多い）との違いでは？

⇒**見方・考え方を単なるツールとするのではなく，それ自体を問い直す場面を！**

⇒この科目全体に係っている「**幸福，正義，公正などに着目して**」の部分を活かして，A - (2)に限らず様々な**学習内容**に対して哲学的な思考をはたらかせることができるのでは？

※「公共」で活用される**見方・考え方**とみられる「幸福，正義，公正」はどのように理解できるか？
現行「現代社会 学習指導要領解説」では、次のように説明されている。

一人一人の人間は、それぞれが自分らしく生き、自己の目的が実現できることを求めている。個々人は、自らの「幸福」を願い、充実した人生を求めているのであって、こうした願いができる限り実現できるよう配慮されていることが、現代社会の諸課題を考察する上で大切なことであると言えよう。しかし、自己の幸福の追求は、時として他者や他の集団、あるいは社会全体の幸福と対立や衝突することがある。

そこで、このような対立や衝突を調整し、いかによりよい社会を形成すべきかを考察することが必要である。そのとき、**すべての人にとって望ましい解決策を考えることを、ここでは「正義」について考えることであるとしている。つまり、ここでいう「正義」とは、何か特定の内容があると考えのではなく、何が社会にとって正しいのかということについて考えることが「正義」について考えることである**ととらえているのである。

「正義」について考える際に必要となってくるのが「公正」である。すなわち、「公正」とは、**対立や衝突を調整したり解決策を考察したりする過程において、また、その結果の内容において、個々人が対等な社会の構成員として適切な配慮を受けていることである。また、「公正」であるとは、社会の制度や規範、あるいは行為の結果を正しいものとして人々が受容する条件が成り立っていること**ということもできる。例えば、対立や衝突の調整を図る場合、当事者のうち片方の主張だけを取り上げていないか、少数者にも配慮しながら社会の多数の幸福を図るようにしているかなど、手続きや結果についての「公正」が確保されているかどうかなどを一つの目安として考えることができる。

2. 「公共」の授業をつくる

●基本方針

- ・ **まず学習指導要領に対して「ベタ」に作ってみる。**
- ・ 内容 A - (2) に対応する単元を考える。
- ・ **自分なりの授業ではなく、「実際に全国の現場でどんな授業ができそうか」をイメージする。**
 - 高度に専門的な知識や独自性の高い教材は用いないことを基本とする。
ネタ元にする資料は、哲学・倫理学の研究に馴染みのない教員でも手に取りそうな、街の書店で購入できる書籍の範囲（新書、文庫など）にとどめる。
- ・ 授業ができるまでの過程を示す。
 - どんな資料を参照したか、教える事項や教材をどんな観点で取捨選択したか、授業の構造をどのように設計したか、などを記す。

●授業づくりの過程

(1) 学習内容を確認する

学習指導要領の内容 A - (2) から…

- ・ 「行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方」は功利主義の立場、
「行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方」は義務論の立場と理解する。
- ・ 「環境保護、生命倫理などの課題」に対して、上記 2 つの考え方を活用する。
- ・ 「思考実験」などの活動を取り入れる。
- ・ 「諸資料」を読み取るなどの活動を取り入れる。
- ・ 「幸福、正義、公正など」に着目する。

(2) 資料を集める

i. 教科書、資料集に記載のある事項

- ・ カント『人倫の形而上学の基礎づけ』からの抜粋(道徳法則、善意志、自律と自由など)
- ・ ベンサム『道徳と立法の諸原理序説』からの抜粋(快楽と幸福、最大多数の最大幸福)
- ・ 功利主義と現代：トリアージ、ワクチン接種の優先順位、トロリー問題
- ・ 代理母の普及が少子化対策になるなら、功利主義的にはアリ？
- ・ カント「殺し屋に追われている人をかくまうための嘘もダメ」問題
- ・ カントの「人格」主義は生命の操作に疑問を呈する？
- ・ シンガーの動物解放論
- ・ どうして遠くの貧しい人を助けなければならないのか？
：シンガーの見解、完全義務と不完全義務の区別

ii. 市販の書籍

※哲学に馴染みのない教員でも手に取りそう、かつ、目次を見て今回の内容に直接使えと見えるものに限定

- ・ サンデル、マイケル『これからの「正義」の話をしよう』『ハーバード白熱教室講義録』
- ・ 小林正弥『日本版白熱教室 サンデルにならって正義を考えよう』
- ・ 岡本裕一郎『思考実験』
- ・ 児玉聡『功利主義入門』
- ・ 御子柴善之『自分で考える勇氣 カント哲学入門』
- ・ 加藤尚武『現代倫理学入門』

- ・越智貢・直江清隆編著『高校倫理からの哲学3 正義とは』
- ・直江清隆編著『哲学トレーニング』
- ・コーエン, マーティン『倫理問題 101』※検索性が低い
- ・ロー, スティーブン『考える力をつける哲学問題集』
- ・一ノ瀬正樹『英米哲学史講義』
- ・永井均『倫理とは何か』
- ・バジーニ, ジュリアン『ビッグクエスチョンズ 倫理』『100の思考実験』

※「倫理学」の入門書ならナカニシヤ出版などから良書が非常に多く出ているが、哲学・倫理学に馴染みのない現場教員が手に取るにはハードルが高いと思われる。

→書籍数はそこそこだが、ネタについてはそう種類が多くなく、「定番」がある印象。特に思考実験や現代的課題に関して、功利主義にはとても盛り上がりそうな題材が多いが、義務論には少ない。→生命倫理や環境倫理の題材と、主な学習内容である規範倫理学のフレーム(特に義務論)がどう関係するのか、しっかりと論じたものが意外と少ない。ノンプロパー教員がいちばん困るところ！

(3) 教材&解説ネタを選ぶ

- ・トロリー問題（多数）→不自然な選択を強いられる感
- ・カント「人間愛のために嘘をつく権利について」→現実味がなく、ジレンマ教材としては不適
- ・電車の中でお年寄りに席を譲る行為の功利性（一ノ瀬）→説明や確認の例としては良
- ・無人島での友人と約束を守るか？（児玉）→確認の例としては良
- ・「津波でんでんこ」（児玉, 小野原）→家族を見捨てる行動を想起させてセンシティブ
- ・原発は推進されるべき？（寺田）→解説がとても有用。しかし個別知識を捨象するのは…
- ・政府は国民の喫煙で得をする？（サンデル）→もろに政策の話になり「倫理」感が弱まりそう
- ・ボランティア活動はどんな場合に「善行」なのか？（御子柴）→説明&確認の例としては良
- ・権力者の前で偽りの証言をするか（カント, 御子柴）→具体的な肉付けをしないと現実味がない
- ・お釣りを偽らない店主の動機（カント, サンデル）→説明の例としては良
- ・自殺に反対する義務（カント, サンデル）→カントの論証に無理があるような…説明しにくい
- ・「義賊」を肯定するか？（永井）→具体的な教材と絡ませれば20分程度の思考実験として良
- ・患者を救うためなら他人を利用してよいか？（小出）→「義務」視点の解説が不足
- ・爆弾テロの容疑者を拷問してよいか？（サンデルほか）→現代的で、思考実験としても良
- ・ハイジャックにあった飛行機を撃墜してよいか？（バジーニ）→現代的で、思考実験としても良
- ・サバイバルロッター（加藤）→SF的な何かと絡めるとすごくおもしろそう
- ・健康な1人から臓器を取り出して5人を助けるか？（サンデル）→このままでは現実味ない
- ・ジョディとメアリー（児玉, ロー, 小林亜）→
- ・原爆投下（小林）→某限界が騒ぎそう
- ・ミニョネット号事件（サンデル）, ひかりごけ事件（小林）→グロすぎ
- ・クローン人間禁止論法「親が子どもを手段扱いしている」（加藤）→SF的な何かと絡めれば…
- ・10人のエイズ患者に特効薬は1人分（加藤）→具体的な事例が見つかれば…

→現実味がない or 不自然な選択を強いる状況設定ではしらがち。現実の事例と絡められればアリ。社会科学的な知識を要する題材に抽象的思考のみで挑むのは、社会科教員としてやや抵抗がある。センシティブな教材は、「それ以外では学べない」という根拠がある場合のみリスクをとるに値する。

(4) 単元構成&単時の授業構成を決める ※とりあえず4時間構成の単元で考えてみる

・高校現場でよくみる授業

「功利主義は、〇〇が提唱したよ。キーワードは△△だよ。(生徒：プリントの穴埋め)

△△の意味は…だよ。さあ、これでよくわかったね」

教材研究が不足していると、用語集の自動読み上げ機みたいな授業になる。

解説が上手な教員だと、具体例を豊富に織り交ぜて説明する。

→いずれにせよ、「教材」(考えさせるためのネタ)と「見方・考え方」が欠落しがち。

→生徒「公民は暗記だ!」、マシな場合でも「わかりやすい!」

※このような授業になる第一の原因は大学入試にあるが、「教員の役割は考える道具を紹介することまでだ。道具を活用する題材を見つけて、考えたり話し合ったりするのは、生徒が自分でやるべきことだ」という考え方も背景にあると思われる。

・意欲的な教育実習生によくある展開：何らかの社会問題を論題として、

「幸福重視＝功利主義だよ。この場合どんな主張をするかな？Aだよね」

「義務重視＝義務論だよ。この場合どんな主張をするかな？Bだよね」

「あなたはAとB、どちらに賛成？意思決定してみよう！」

「A派とB派の人でディスカッションしてみよう！」

→功利主義も義務論も、一定の主張を単線的に導けるように定義されてしまいがち。

幸福とか公正とか、一義的に理解させていいの？

→功利主義と義務論の対立が前提であるかのように扱われてしまいがち。

・上のように、功利主義と義務論を用途が決まったツールとして与えてしまうより、まずはそれぞれを検討の俎上に載せて、じっくり検討させたい。

・同時に、学習内容(功利主義と義務論)の習得と活用のプロセス＝基礎・基本は確実にやりたい。探求・探究はその後にくるもの。

⇒1時間目：功利主義の習得・活用→思考実験を題材に、対話的な手法を用いて考察

2時間目：義務論の習得・活用 →思考実験を題材に、対話的な手法を用いて考察

3・4時間目：現代的な課題を題材にして、功利主義・義務論の考え方を活用しつつ、対話的な手法を用いて考察

①功利主義

導入
5分

問：嘘をつくことが「善い」行為になる場合はあるか？あるとしたら、どんな理由で「善い」のか？

- ・生徒解答例：正直に伝えて相手がショックを受けてしまう場合。自分も恨まれるし、誰も得しない。
→教員返し：そこで言う「得」ってどういうこと？
→生徒回答：いい気持ち、嬉しい気持ちになるってこと。

習得
15分

1. 哲学者ベンサムが考えたこと

[a] 人間の行動を支配する原理とは？（ベンサム『道徳および律法の諸原理序説』）

自然は人類を**苦痛と快楽**という、二人の主権者の支配のもとにおいてきた。われわれが何をしなければならぬかということを示し、またわれわれが何をしようかということを決断するのは、ただ苦痛と快楽だけである。一方においては善悪の基準が、他方においては原因と結果の連鎖が、この二つの玉座につながれている。

→関連発問：「苦痛と快楽」以外に、人間の行為を左右している原理はあるか？

[b] 快楽は数量的に計算できる

- ・7つの基準（快楽の強さ・持続性・確実性・実現の時期の近さ・多産性・純粋性・範囲）
→関連発問：快楽は計算できると思う？できるとしたらどんな基準で計る？

[c] 功利性の原理：**最大多数の最大幸福**

- ・社会全体の幸福をできるだけ大きくし、それをできるだけ多くの人に分配する
- ・社会全体の幸福＝一人ひとりの幸福の総和
- ・「各人は等しく一人として数えられ、誰もそれ以上に数えられてはならない」
→自分自身すらも他の人と同じただの一人にすぎず、特別扱いできない
→自分ひとりの幸せを最大化することを目指す利己主義ではない
→確認発問：功利主義的に考えると、電車の中で高齢者に席を譲る行為はたぶん善である。なぜ？
→関連事例：彼女に誕プレを贈るより、見知らぬ貧しい人に食料を送るほうを優先すべき
誰か(自分かも)を奴隷にすることで、他のみんなが幸せになれるなら……

⇒ある行為の善悪は、その行為がもたらす結果によって判断される（**帰結主義**）

※行為を事後評価する結果論とは異なり、「こうしたらこうなるだろう」という事前予測を重視

⇒善悪の判断は、その行為がもたらす幸福＝快楽の総量(と苦痛のバランス)で決まる

🖱️例題：こんなとき、功利主義者ならどう考える？

【視聴】ドラマ「コードブルー」から、救うべき命の選択を迫られる救命医のジレンマ場面

- 関連事例：災害現場のトリアージ
- 関連発問：あなたは功利主義者の振る舞いに共感できる？

活用
10分

2. 思考課題：テロリストにハイジャックされた飛行機を撃墜すべきか？

（ジュリアン・バジーニ『ビッグクエストions 倫理』より）

対話
20分

ディック・チェイニー副大統領は、ニューヨークの世界・トレード・センターが攻撃された際、それに2種の飛行機が使用されたことを聞かされた。数千人がすでに殺されたか、あるいはすぐに死に至るであろうということも同時に明らかになった。

そのとき彼は、ある恐ろしい決断を迫られていた。もし他の飛行機がハイジャックされ、この2機のような運命が待ち受けているとしたらどうするべきか？機内にいる無実の人たちを殺すことになって、そのハイジャック機を撃ち落とすべきなのか？あるいは、ハイジャック機をそのまま操縦させ、旅客と地上にいる人々をそのまま見殺しにするべきか？

チェイニーがその決断を下すことはさほど難しいものではなかったようだ。その決断から10年後、彼はあるニュース番組において、「正直、私はあまり躊躇しなかった。飛行機がハイジャックされれば、それは武器になる。……私は、脅威を排除することが自分の責任であると考えた」と語っている。

※2004年にドイツでは、「航空機を使ったあらゆる犯罪のケースにおいて、連邦国防大臣が撃墜命令を出せる」ことを定めた航空安全法が成立した。しかし、この法律に対して後に連邦憲法裁判所で「違憲」の判決が出され、無効となった。 ←この法律を題材にした法教育の授業開発が既になされている

👉確認：功利主義者なら、この問いにどう答えるだろうか？

生徒解答例：より多くの人びとの生命・幸福を守るという帰結をもたらすならば、チェイニーの判断のように、迷うことなく撃墜すべきだ。

※自分の家族がその飛行機に乗っていたとしても！

👉考えるヒント

- ・「撃墜すべき」派の人は、どんな価値観を根拠にしてそう主張しているか？
- ・「撃墜すべきでない」派の人は、どんな価値観を根拠にしてそう主張しているか？
→それぞれの主張の根拠をよく聞き、キーワードを探り出そう
- ・飛行機の中に家族や友人が乗っていたら、あなたの判断は変わる？
- ・自分が「直接命令を出す立場にある人」だったら、あなたの判断は変わる？
→あなたの主張は、自分が置かれた社会的な立場が変わっても受け入れられるものか？

●展開

- ・4人グループを作り、その中でファシリテーター（司会ではなく率先して問いを投げる役）と記録（主張の根拠となるキーワードを中心に、対話のプロセスを記録にまとめる役）を決める。
- ・各グループで対話する。
- ・数グループが出てきた論点を全体に向けて発表しながら、授業者と質疑応答を交わす。

●指導上の留意点

- ・中学校で既習の、また「公共」でこの後扱う、憲法の基本原理と関連づけることができる。ただし、あまりそちら（個人の尊重など）に引き付けられると、ジレンマを抑圧してしまうかも。
- ・おそらく生徒からは、「善くはない。でも、しかたない」という意見が出る。それに備えて、「しかたない」を哲学的に掘っていくような返しを用意しておく。

②義務論

習得
20分

1. 哲学者カントが考えたこと

[a] 無条件に善いものは**善意志**のみである

⇒ある行為の善悪は、その行為をしようとした心のありようによって判断される（**動機主義**）

[b] 理性が命じる**道徳法則**に従って行為すること（**自律**）こそが、真の自由である

・人間の心の内には、道徳的**義務**に従うよう求める良心の声がある（**義務論**）

※自己の欲求に従う性質は**傾向性**と呼ばれ、理性の命じる**義務**とは区別される

→欲求充足を目指す行為がたまたま義務に合致しただけの場合、それを「道徳的」とは言わない

→**関連発問**：ふつう「自由」はどう理解されている？→カントとの相違を確認

[c] 「それ自身が同時に普遍的な法則になりうるような格率にしたがって行為せよ」

⇒道徳法則は**定言命法**の形で表され、**普遍化可能性**をもつ

▶**仮言命法**：「もし〇〇を得たいならば…せよ」という条件付きの命令

▶**定言命法**：「…せよ」という無条件の命令

→**関連事例**：お釣りを偽らない店員

→**確認発問**：カント的に考えると、ボランティア活動はどんな場合に道徳的なのか？

※一般に「偽善」が非難する心性があることを考えると、カントの言い分は納得できる？

[d] 理性が命じる道徳法則に従う自由な存在を**人格**と呼ぶ

⇒目的のための手段として存在する物（道具）とは区別される

[e] 「君の人格およびあらゆる他の者の人格における人間性を、常に同時に目的としてとり扱い、けっして単に手段としてのみとり扱わないように行為せよ」

⇒こうして生まれる人格の共同体を**目的の国**と呼んだ

→**関連事例**：友達という理由が「ぼっちだと思われたくない」だけなら相手を手段にしている

しかし、多少はそういう側面はあるはず →「手段としてのみ」扱わない

活用
10分

例題：こんなとき、カントならどう考える？（岡本裕一朗『思考実験』改変）

Aさんは私の親友であるが、現政府に批判的な活動を行っているので、「反逆者」として秘密警察に追われていた。ある日、そのAさんが私のところにやってきて、今日だけかくまってほしい、と申し出た。長年の親友の依頼ということもあって、私は喜んで引き受けた。ところが、その後で、秘密警察がやってきて、私にこう尋ねた。「あなたの友人のAさんが、ここへ逃げ込んだという情報があるのですが、Aさんはおいででしょうか」。

このとき、私はどう答えるべきだろうか？

→前時冒頭の問いに戻る：どのような理由を挙げても、嘘を正当化することはできない

→**関連発問**：あなたはカント的な振る舞いに共感できる？

→**関連事項**：カントへの批判とそれへの応答を紹介。嘘をつかずにごまかすことはできる？

対話
20分

2. 思考課題：「義賊」なんているのか？

教材未定

「鼠小僧」のお話など、フィクションに描かれた義賊の行動を引用。

※義賊…日々の生活に苦しんでいる貧民の状況に心を痛め、私腹を肥やしている大金持ちからだけ盗み、盗んだ分の全額を貧民に分け与える盗賊。自らは質素な生活をしている。

👉 確認：義務論者(カント)なら、この問いにどう答えるだろうか？

生徒回答例①：「場合によっては盗むことも善行だ」という命題は普遍化できないからナシ

生徒回答例②：「貧しい人を助ける」のも義務の一つだと思うからアリ

→「ある義務と別の義務が対立・葛藤する状況もあるのでは」問題

「人間にとって守るべき義務を誰がどうやって決めてるの」問題

生徒回答例③：動機が本当に善意ならアリだけど、実際には違うんじゃないかな

→「100%善意って厳しすぎないですか」問題

→関連発問：功利主義者ならどう考える？

回答例：大金持ちは多少財産が減ったところで幸福の減少分はそう大きくないはず。

それよりも、少しずつのお金が配られることで飢えから逃れられる貧民の幸福の増大の方が大きいはずだ。だから、この行為は善行と呼びうる。

👉 考えるヒント

- ・「義賊を認める」派の人は、どんな価値観を根拠にしてそう主張しているか？
- ・「義賊を認めない」派の人は、どんな価値観を根拠にしてそう主張しているか？
- ・「盗んではいけない」はカント的な意味で「義務」というべきなのか？
- ・「間違っただ世の中を変える」ために、法的には悪事とされることを行う例は他にある？

Ex. 誰もが犯罪に怯えずにすむ優しい世界をつくるために、悪人を抹殺した夜神月(デスノート)

●展開

- ・4人グループを作り、その中でファシリテーター（司会ではなく率先して問いを投げる役）とエディター（主張の根拠となるキーワードを中心に、対話のプロセスを記録にまとめる役）を決める。
- ・各グループで対話する。
- ・数グループが出てきた論点を全体に向けて発表しながら、授業者と質疑応答を交わす。

●指導上の留意点

- ・財産権など法的な話に流れていく可能性がある。その場合、法の根拠を問い直していく方向で返しの発問をして揺さぶりをかける。

③現代の論争課題で考える：エンハンスメント

導入

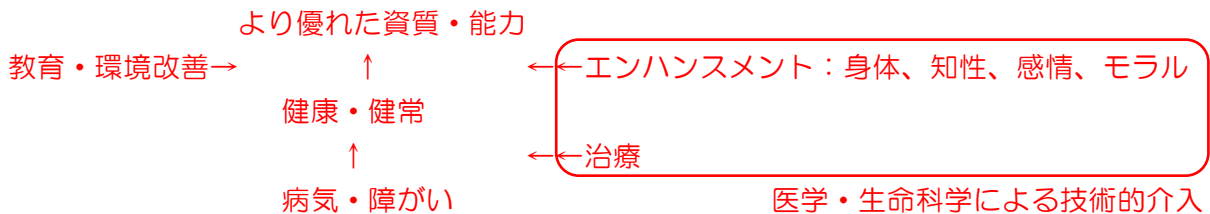
10分

【視聴】NHKの番組「ネクストワールド 第3回 人間のパワーはどこまで高められるのか」

習得

5分

1. エンハンスメントとは何か？



2. エンハンスメントをどこまで認めるか？

❖ やっていいこと／いけないことを区別する

展開1

10分

- ①薬を飲んで感情の起伏を穏やかにし、人当たりの良い性格にする。
- ②脳神経を刺激して、社会生活を妨げるレベルのトラウマや嫌な記憶を脳のメモリから消去する。
- ③5日間全く眠くならず脳が覚醒した状態を保つサプリを摂取し、試験勉強を乗り切る。
- ④義肢・人工臓器などで人体をサイボーグ化し、生身の人間を著しく上回る身体機能を得る。
- ⑤脳の神経細胞にマイクロマシンを直接接続し、外部ネットとつないで高速情報処理の能力を得る。
- ⑥体内を自由に移動してがん細胞を攻撃するナノマシンが入ったカプセルを摂取する。
- ⑦出生前の胎児の遺伝子を操作して、将来がんを発症させる可能性の高い遺伝子を除去する。
- ⑧出生前の胎児の遺伝子を操作して、高い知能をもった子どもをつくり出す。
- ⑨出生前の胎児の遺伝子を操作して、イケメンの子どもを作り出す。
- ⑩全身を整形して、超絶イケメンに生まれ変わる。
- ⑪重度の火傷を負った人が、皮膚の整形手術によって美肌にする。
- ⑫筋力を一時的に増強する薬を使い、スポーツでよい成績を残す。
- ⑬筋力を半永続的に増強する遺伝子操作を行い、老化による身体の衰えを止める。
- ⑭将来卵巣がんになる可能性が高いため、手術によって卵巣を摘出する。
- ⑮子どもが物心つく前から徹底した英才教育を行う。

やっていいこと []

やってはいけないこと []

問：あなたはどんな根拠に基づいて、やっていいこと／いけないことを判断したか？

※その技術が普及した未来において、どのような人間が／どのような社会が形成されるかも考慮する

●展開：5～6人に発表させ、判断の根拠の部分を板書でリストアップする

※生徒の実態によっては、トゥールミン図式などを示して議論における「根拠」の大切さを解説する

展開2
25分

【メモ】自分が挙げたもの以外に、どんな根拠があるか？

●生徒回答例

- ・大学受験にせよスポーツ競技にせよ、不公平が生じる

→整理：自分がエンハンスメント無しの立場に置き換えると同意できなくなる

「公正」

→返し発問：それを言うなら、人間の能力なり容姿なりって、生まれたときから不公平じゃない？

エンハンスメントの技術で、むしろ能力を公平に均すことこそ公平では？

「公正」理解の揺さぶり

「正義」？

- ・みんな技術でより幸せになれるはず。幸せを望むのを他人が止めていいはずがない。

「幸福」

→返し発問①：新しい技術には危険が伴うことも多い。それは止める理由にはできない？

→生徒返答：馬鹿なこととしてでも他人に迷惑かけなければ自己責任でいいはず

他者危害の原則

→返し発問②：たとえば「モデルみたいに細くなりたい」という願望が叶えば本人は幸せを感じるかもしれないけど、そんな過度な痩せ願望を広める社会でいいの？

- ・よかれと思っていても、子どもの生き方を親が勝手に左右すべきではない

「自由＝自律」

→整理：自分の欲望のために、子を「手段としてのみ扱う」態度につながる？

「義務」

→返し発問：なら、英才教育にも反対？

※障害をもつカップルが精子提供によって子どもを障害者として生まれさせた例

- ・技術的にできるからって何でもやっていいわけではない。人間のあり方をねじ曲げてはダメ。

「義務」

●生徒からは出ないだろうが触れておきたい観点

- ・「人間らしさ」が損なわれる →「人間らしさ」って何？誰が決めたの？

- ・何でもできる人ばかりになって、人間が画一化されるのでは？ →その何が悪いのだろう？

- ・できることが当然の社会になって、「できないでいる、弱くある」生き方が抑圧される

==たぶん第3時は、生徒に「根拠」を挙げさせてリスト化するときまで=====

==続く第4時で、前回の板書を使ってリストの項目を1つずつ検討する=====

導入
10分

⇒考え方を整理しよう

復習

👉例題：こんなとき、功利主義で／義務論でどう考える？（児玉聡『功利主義入門』改変）

あなたと友人が遭難して無人島にたどり着いた。サバイバル生活を続けていたが、友人の体調は悪化していった。友人はあなたに預金通帳とカードを渡し、「自分の全財産を競馬クラブに寄付してほしい」と言い残して永眠した。あなたはそうすると約束した。幸い、その後まもなくしてあなたは救助された。あなたは友人との約束を果たそうと思ったが、よくよく考えると、競馬クラブよりも病院に寄付するほうが善いことのように思える。あなたと友人の約束については、他に誰も知らない。

あなたは友人の財産をどうすべきだろうか？

- ・病院に寄付したほうがより多くの人を幸福にするだろう
- ・「約束を守る」ことは義務

展開1
20分

→上の「根拠」リストの中で、功利主義的な発想に基づくもの／義務論的な発想に基づくものをピックアップして関連付けていく

→さらに、「幸福」「正義」「公正」などのキー概念(→見方・考え方)に着目して、上の[]部分のような形で、板書にしてまとめる

3. そもそも、エンハンスメントによって「幸福」になれるのか？

- ・前回考えた項目を思い出そう

展開2
15分

②脳神経を刺激して、社会生活を妨げるレベルのトラウマや嫌な記憶を脳のメモリから消去する

→この技術がさらに発展すると……

（ジュリアン・バジーニ『100の思考実験』※元ネタはロバート・ノージック『アナーキー・国家・ユートピア』）

ロバートは同意書を前にして座り、この2時間ずっと悩んでいたが、それでもまだ、サインすべきか破り捨てるべきか、わからなかった。迷っているのは、ふたつの将来のどちらを選択するかだ。

ひとつ目の将来は展望が暗く、夢を実現できる見こみは薄い。ふたつ目の将来は、有名なロックスターとして永遠の幸福が保証されている。選ぶまでもない、と思えるかもしれない。ところが、ひとつ目の人生は現実世界のもので、ふたつ目の人生は、すべて「経験機械」の中でのものなのだ。

この機械を使えば、人生をまるごと仮想現実で送ることができる。そこでのあらゆる経験は、より幸福でより満足できるものに、あらかじめ設定されている。しかし、ここが重要なのだが、いったん機械に入ってしまうと、自分が現実世界にいないことには気づかず、自分の身に起きる出来事が、みずからの望みに沿うよう設定されていたことにも気づかない。まるで、ふつうの世界でふつうの人生を生活しているようなものだ。ただ、この人生では、何もかもがうまくいくように思えるため、人生の勝者でいられる。

いったん機械に入れば人生はバラ色だ、とロバートにはわかっている。しかし、それでも、どこかまやかしの感じがして、天国へ連れて行ってくれるはずの書類にサインするのをためらってしまうのだ。

※ここで使う例は、ハクスリー『素晴らしい新世界』中のハッピードラッグ「ソーマ」や、アニメ『PSYCHO-PASS』中の「シビュラシステム」（個人の心理や適性を解析し、その人が最も幸福になれる職業、趣味などを指定してくれるしくみ）などでもよい

問：経験機械につながれた人は「幸福」か？

- ・功利主義的には、みんながこの機械につながれば「最大多数の最大幸福」が実現するのでは？
→幸福な結末が待っているのにそれに抵抗を感じるなら、「義務」の発想を受け入れているのかも
- ・義務論的には、自分自身の「人格」をないがしろにしていることになるのか？
- ・幸福になるには単なる「快樂」以外の何かが必要なのではないのか？

4. 功利主義と義務論を捉え直す

終末
5分

- ❖ 功利主義と義務論は、ともに幸福をめざす？

義務論の起源は、神こそが最も優先されるべき関心事という宗教的な倫理観である。その後イマニュエル・カントによって切り拓かれた近代的な解釈においては、私たちの従うべき義務は神ではなく理性によるものとされた。いずれにせよ、その義務は繁栄や幸福以外の何かに基づいていたのだ。一方帰結主義は、幸福の最大化と、苦痛の最小化を核とする功利主義を通じて知られるようになった。

かくして、道徳は人々の幸福を最大化するものではないという主張と、そのためのものだという主張の2つの主張で明確な違いがあるかに見えるようになったのだ。

しかし、このように区別することは誤解を招くものである。そもそも、義務論の中心は人間の幸福であることは間違いなことなのだ。神は人間にとっての最大の関心事であるため、神に従うことで、人間の幸福が間接的にはあるが最大化されるとされていたからだ。

→一見「幸福」な帰結以外の要素を考慮してエンハンスメントの是非を考えると、実はもっと別の、より良い「幸福」のあり方を考えているのでは？ ※アリストテレスなどに触れてもよい。